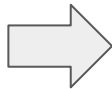


# 応用課題ガイダンス

# はじめに

＜1ヶ月目＞基礎学習  
プログラミング学習の土台づくり  
(HTML,CSS,Ruby,RubyOnRails)



＜2ヶ月目＞応用課題&チーム開発  
基礎学習の復習&  
発展学習をする期間



## アジェンダ

1. 応用課題とは?
2. 学習方法
3. 10日間の過ごし方
4. 学習レポート
5. 学習時間について
6. メンターへの質問
7. その他
8. グループワーク

# 1. 応用課題とは？

# 応用課題とは？

応用課題とはRuby On Railsの復習&発展学習を兼ね揃えた学習ツールです。全10問の構成で、ポートフォリオ制作までの技術力の底上げアップを目指した内容となります。



# 応用課題とは？

## 課題内容

課題	内容	メンター対応	難易度	課題ヒント
1	Bookers1_デバッグ問題	○	中	○
2	Bookers2_デバッグ問題	○	中	○
3	Bookers2_「いいね/コメント機能」実装	○	高	×
4	Bookers2_「フォロー/フォロワー機能」実装	○	高	○
5	Bookers2_「検索機能」実装	○	高	×
6	課題3で実装した機能の非同期通信化	○	高	○

# 応用課題とは？

課題	内容	メンター対応	難易度	ヒント補足
7	Bookers2_住所検索機能実装	×	高	○
8	Bookers2_メール送信機能実装	×	高	○
9	Bookers2_チャット機能実装	×	高	○
10	Bookers2_バッチ処理実装	×	高	○

## 2. 学習方法



# 学習方法\_課題学習の流れ

## 全体像

① 応用課題リストで課題概要を確認する



② 課題の要件を確認後、課題を進める



③ 課題をアンケートフォームから提出



課題2以降も②～③を繰り返す

応用課題は基本的に順番通り進めていただきます。

また、課題についてのレビューはございません。

提出時に模範解答が見れるようになっていますので、そこで自身のコードと比較して確認していただきます。

# 学習方法\_課題提出手順-1

## 2ヶ月目応用課題アンケートフォーム

\*必須

メールアドレス \*

メールアドレス

拠点を選択してください。 \*

- ☐ 渋谷校
- ☐ 新宿校
- ☐ 難波校

受講生IDを入力してください。 \*

回答を入力

氏名を入力してください。 \*

課題が完成したら、提出フォームにて、  
提出する課題の内容が確認できるGitHubのURLを  
送信してください。  
また、各質問項目にもお答えください。

受講生IDは**WCOの右上**に表示されています。  
入力時はその部分からコピーして使用してください。  
※今後如何なる場合も受講生IDはコピーして使用すること

## 学習方法\_課題提出手順-2

### 2ヶ月目応用課題アンケートフォーム

#### 課題1:解答

応用課題1の解説になります。  
わからなかったところや曖昧なところを確認しましょう。

解説

解答/解説のリンクが表示されます

☐ 回答のコピーを自分宛に送る

**忘れずに！**

戻る

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

### ◀ アンケートフォーム

フォーム送信時に解説や、  
模範解答コードのURLが表示されます。  
必ず確認しましょう。

「送信」をクリックすると  
課題が提出されます。  
必ず忘れずに押してください。

## 3. 10日間の過ごし方

## 到達目標: **応用課題6**

応用課題6到達を目標としているのは次フェーズのポートフォリオ制作において基本となってくる技術の習得が行えるためです。ここまではメンターへ質問ができるため、分からない部分については質問対応の中で解消が可能です。

※ 応用課題で当社の定める水準は **応用課題1-4の完了** です。

詳細はWCOのキャリアサポートコンテンツをご確認ください。

また、応用課題7以降はさらに応用的な技術演習となります。**メンターへ質問が行えない範囲**ですが、10まで到達すると次フェーズのポートフォリオ制作においてさらに完成度を高められる技術の習得が行えます。

6まで到達された方は積極的に取り組んでいきましょう。

# 1日の過ごし方

## ～1日の学習の流れ～

※11:00開始の場合

- ①:11:00～  
デイリースクラム(後述)の実施
- ②:11:30～  
応用課題学習開始
- ③:13:00～  
メンターへ質問しながら学習

継続的な学習や質問対応を通じた学習が行えるよう、学習時間を整え日中～夜間に取り組むことを心がけましょう。

まずは左記の学習モデルを参考にしてみましょう。

# 課題6到達までのモデルスケジュール

前半

1日目	初回ガイダンス、課題1～2
2日目	課題3
3日目	課題3～4
4日目	課題4
5日目	課題4

まずは**前半の5日間で課題4までをクリアする**ことを目指しましょう。この5日間は課題4までを通して学習フェーズ1の復習をすることを意識してください。

また、課題1～3までと**課題4**以降では難易度が大きく変わるため、最初の2～3日で余裕を持って進められると課題6までスムーズに進めることができます。

# 課題6到達までのモデルスケジュール

後半

6日目	課題5、中間キックオフ
7日目	課題5
8日目	課題5～6
9日目	課題6
10日目	課題6

## 中間キックオフ:04/06(火) 11:00実施予定

※開催日前に事前アナウンスをいたします。

中間キックオフ以降は課題5の提出に向けて学習を進めていきましょう。

以降は最低限6までの提出を目指したスケジュールです。あくまで目安ですので、余裕がある方はさらに課題を進め、10までの到達を目指しましょう。



## 受講生同士教え合おう！

応用課題はあくまで個人に割り振られた問題ですが、メンターに質問するだけでなく、受講生同士で協力し学習を進めていくことも効果的です。

Remoのテーブルが同じメンバーとは積極的にコミュニケーションを取り、時に教え合いをしながら進めていくことをお勧めします。

# 学習の取り組みについて

教え合いができるこんなメリットが期待できます。

## メリット

- ・自分以外の受講生の学習進捗が確認できるため、自分の状況が客観視できる！
- ・一人で学習するとつい乱れがちな学習もチームメンバーとの学習でメリハリが生まれる！
- ・互いにわからない箇所を教え合うことで学習理解や進捗の向上が行える！
- ・教えた人は自分の知識のアウトプット学習ができる！
- ・参考になった記事やメンターから教わったことを共有し合える！

# 学習の取り組みについて

しかし、教え合いの取り組み次第では悪い影響にもなり得ます。

それぞれのメリット・デメリットを理解しましょう。

## デメリット

- ・教えてもらってばかりで、自分で考えようとしなくなってしまう。
- ・課題ができた人に答えだけ聞いて進めてしまう。

# 4.学習レポート

# 学習レポート

自身の学習進捗を確認したり、振り返りをする機会として「**学習レポート**」をご用意しました。

学習進捗を日次と週次形式で記載していただく

「**デイリーレポート**」・「**ウィークリーレポート**」を元に、

自身の学習を振り返り、改善していきましょう！

学習・制作ペースの維持や、自身の学んだ内容/進捗を客観視し、  
スケジュールの軌道修正を行う復習に役立てるといった取り組みに活用することができます。

## 実施日

- ・デイリーレポート 毎日学習終了時点（※休校日・チーム開発期間中は除く）
- ・ウィークリーレポート 毎週金曜日（※チーム開発期間中は除く）

各レポートで使用するものは以下の三つです。

## □ デイリーレポート

- ・デイリーレポート提出フォーム( <https://ux.nu/EHkdU> )

## □ ウィークリーレポート

- ・ウィークリーレポート提出フォーム( <https://ux.nu/N4ZFr> )
- ・[雛形]ウィークリーレポート( <https://ux.nu/8ngnc> )

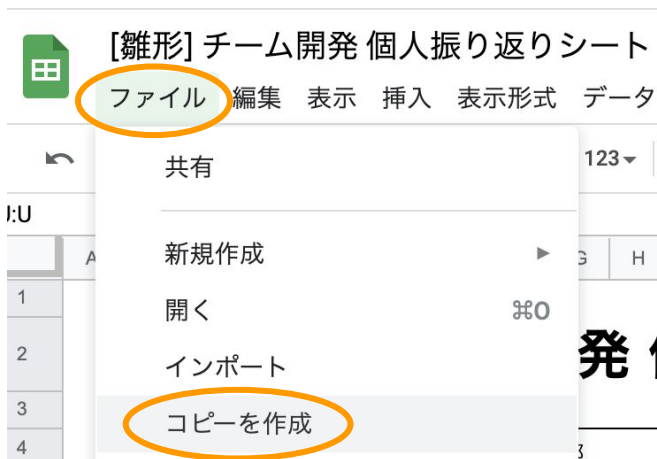
※必ず「[雛形]ウィークリーレポート」をコピーして使用してください。コピーの方法については後述いたします。

# 学習レポート - ファイルのコピー方法について -

## ▶ ファイルコピー手順

- 左上の**ファイル→コピーを作成**でファイルを複製して使用してください。
- **保存場所:マイドライブ**

1



2

ドキュメントをコピー ×

名前

[雛形] チーム開発 個人振り返りシート のコピー

フォルダ

■ マイドライブ

☐ 同じユーザーと共有する

☐ コメントをコピーする

☐ 解決済みのコメントを含める

キャンセル

OK

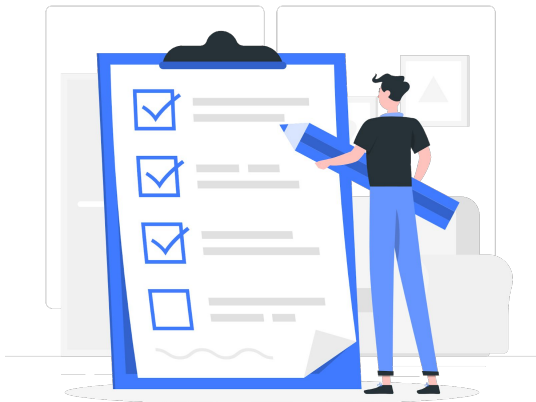
# デイリーレポート



# デイリーレポート

デイリーレポートは、  
フォームにて日々の学習を振り返っていただきます。  
デイリーで学習内容/進捗を記録することで、  
現状の学習状況、取り組んだ内容でどこに時間がかかったかなどを確認  
することができ、改善点がわかりやすくなります。

また、日々の進捗を記録することで備忘録にもなり、すでに学習した内容や、理解が薄い箇所などが整理され効率的に学習を進めることができます。



## 実施日

毎日学習終了時点（※休校日・チーム開発期間中は除く）

# デイリーレポート

## 学習フェーズ \*

- ☐ 基礎学習フェーズ（1ヶ月目）
- ☐ 応用課題フェーズ（2ヶ月目）
- ☐ ポートフォリオ制作フェーズ（3ヶ月目）
- ☐ 専門技術学習フェーズ（4ヶ月目）

## 本日、学んだことを教えてください。 \*

例、いいね機能・フォロー/フォロワー機能について

記述式テキスト（長文回答）

## 前日に設定した本日の学習到達目標は達成できましたか？ \*

- ☐ はい
- ☐ いいえ

「いいえ」と回答した方は、達成できなかった理由を教えてください。

例、学習内容に対して、学習時間の見極めりが想定と異なっていた

記述式テキスト（長文回答）

## 明日の学習到達目標を教えてください。 \*

カリキュラムの章、課題名、学習内容などを記載してください。

記述式テキスト（短文回答）

## 学習フェーズ

学習フェーズを選択してください

本日、学んだことを教えてください

学習内容やメンターへの質問で学んだことを記入してください

前日に設定した本日の学習到達目標は達成できましたか？

当てはまる項目にチェックをしてください

「いいえ」と回答した方は、到達できなかった理由を教えてください

到達できなかった理由をできるだけ具体的に記入してください

明日の学習到達目標を教えてください

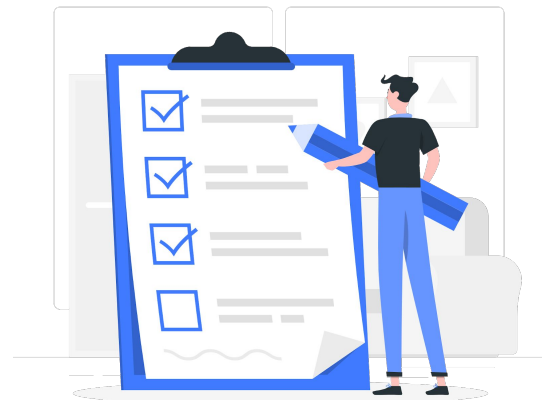
カリキュラムの章や、実装予定の機能などを記入してください

# ウィークリーレポート

# ウィークリーレポート - シートについて -

ウィークリーレポートは  
KPT+ $\alpha$ を用いた振り返りワークを行っていただきます。  
1週間で取り組んだ内容を振り返り、  
「よかったこと」は継続、質を高めていき  
「上手くいかなかったこと」は、やり方をかえ改善、  
その中で新たに気付いた事などに  
取り組んでいくことで学習の質を高めていくことを目的としています。

ウィークリーレポートを記入する際は、  
後述する内容と記入例を参考にしてください。  
できる限り具体的に記入することを心がけましょう。



**実施日** 毎週金曜日(※チーム開発期間中は除く)

## ウィークリーレポート - シートについて -

# Weekly Report

記入日	学習時間(今週)	学習目標時間(次週)
今週学んだこと・振り返り		
学んだこと		
よかったこと(Keep)		
問題点・改善点(Problem)		
具体的な行動(Try/Action)		

来週の予定・目標

月	火	水	木	土	日
##開始・終了時間	##開始・終了時間	##開始・終了時間	##開始・終了時間	##開始・終了時間	##開始・終了時間
##学習内容	##学習内容	##学習内容	##学習内容	##学習内容	##学習内容
##到達目標	##到達目標	##到達目標	##到達目標	##到達目標	##到達目標

≡
例 ▾
雛形：○月○日(○) ▾

## 注意事項

- ・タブをコピーして使用してください。
- ・[記入日]を記載してください。

# ウィークリーレポート - シートについて -

記入日	学習時間(今週)	学習目標時間(次週)
4/10	51時間	48時間
今週学んだこと・振り返り		
<b>学んだこと</b>		
・ items MVC作成 ・ member viewの作成 ・ 商品詳細ページの作成 ・ 商品編集ページの作成 ・ ジャンル編集ページの作成		
<b>よかったこと(Keep)</b>		
・ member viewの作成がスムーズに行えた		
<b>問題点・改善点(Problem)</b>		
・ 質問の前に自分自身で調べずに質問していることが多かった		
<b>具体的な行動(Try.Action)</b>		
・ 質問する前に必ず自分で調べ、少なくとも「分からないこと」を明確にした上で質問を行う。		

## 学んだこと

学習内容や取り組んだ機能や、  
メンターへの質問で学んだことを記入してください

## よかったこと(Keep)

上手くいったこと、今後も継続したいと思っていること  
なぜ上手くいったか、一番こだわったことなどを記入してください

## 問題点・改善点(Problem)

学習に取り組む上で問題があったと感じたこと、目標に達しなかったこと、  
問題の原因などを記入してください

## 具体的な行動(Try.Action)

良かったこと(Keep)のうち来週も取り組みたいことや  
問題点(Problem)を解決するための具体的なアクションを記載してください。

# ウィークリーレポート - シートについて -

来週の予定・目標

月	火	水	木	土	日
##開始・終了時間	##開始・終了時間	##開始・終了時間	##開始・終了時間	##開始・終了時間	##開始・終了時間
11:00~19:00	8:00~17:00	11:00~19:00	9:00~20:00	13:00~22:00	11:00~19:00
##学習内容	##学習内容	##学習内容	##学習内容	##学習内容	##学習内容
ジャンル検索後の商 商品詳細画面を表示	新規作成カート内商	編集したカート内商 カート内商品テブ	カート内商品の削除 カート内商品を空に	・管理者側の会員一	管理者側のヘッダー
##到達目標	##到達目標	##到達目標	##到達目標	##到達目標	##到達目標
商品詳細画面を表示	新規作成カート内商	カート内商品テブ	カート内商品を空に	・管理者側の会員一	管理者側のヘッダー

## 開始・終了時間

来週の学習開始予定時刻・終了予定時刻を記入してください

## 学習内容

来週の学習予定内容を記入してください

## 到達目標

来週の目標学習進捗や到達目標を記入してください

# ウィークリーレポート - 提出方法について -

## ウィークリーレポート

1週間の学習を振り返り、翌日の目標を設定しましょう。

\*必須

メールアドレス \*

メールアドレス

氏名 \*

回答を入力

受講生ID \*

回答を入力

学習フェーズ \*

- ☐ 基礎学習フェーズ (1ヶ月目)
- ☐ 応用課題フェーズ (2ヶ月目)
- ☐ ポートフォリオ製作フェーズ (3ヶ月目)
- ☐ 専門技術学習フェーズ (4ヶ月目)

ウィークリーレポートのリンクを提出してください。 \*

回答を入力

メールアドレス

メールアドレスを入力しましょう

氏名

お名前を記入してください

受講生ID

受講生IDを記入してください

学習フェーズ

学習フェーズを選択してください

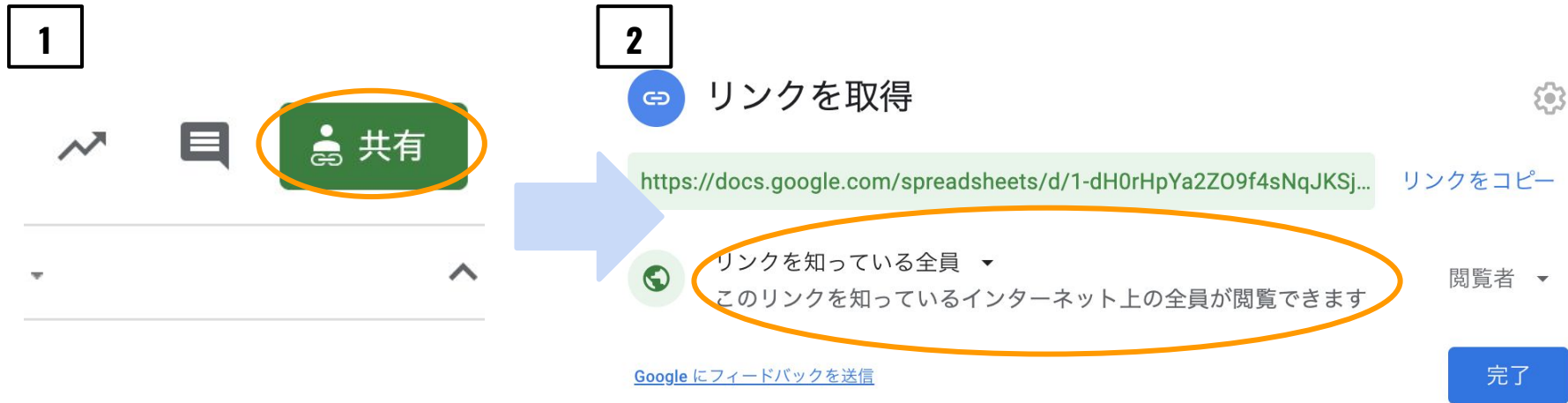
「ウィークリーレポート」のリンクを提出してください

提出の際、権限を「閲覧可能」にしてください



# ウィークリーレポート - 提出方法について -

- 右上の「共有」から**閲覧権限を付与**してください。



# デイリースクラム

## 8.デイリースクラム

お互いの学習進捗を共有したり、教え合いをする機会としてみなさんへ

**「デイリースクラム」**という取り組みをご用意しました。

日々の進捗を日報形式で記載できる**「デイリーレポート」**を利用して、

お互いの進捗状況を共有し合ってみましょう！

これを行うことで制作ペースの維持や、自身の進捗を客観視し、

制作の軌道修正をするといった取り組みに活用することができます。

**毎日11:00 15分程度**(休校日を除く)

# デイリースクラム -進行について-

## 進行フロー

① 11:00 ~ 集合したメンバーと挨拶しましょう



③ 11:05 ~ 発表順を決めて、共有し合います



④ 11:15 ~ 発表が終了したら学習を始めましょう

**毎日11:00までに**

Remoのテーブルにお集まりいただき、左記の手順で進めていきましょう。

# デイリースクラム -アジェンダー-

- テーブルのメンバーと**デイリースクラム**をしましょう！

デイリーレポートに記載した内容を元に、以下について共有します。

- 昨日の学習到達目標は達成できましたか？（はい or いいえ）
- いいえ ➡ 何が原因で達成できなかったのか
- 現在の学習進捗はどこまでか（例：カリキュラム「Railsを学ぼう」の〇章）
- 本日の学習到達目標はどこまでか（例：カリキュラムの〇章まで、課題の完成）
- （その他、あれば）学習で気をつけていること、意識していること、気づいたこと等
- 本日のトークテーマについて

# やってみよう！\_デイリースクラム

## デイリースクラム中のトークタイムについて

デイリースクラムの最後に、日毎に設定したトークテーマを元に話し合いをしていただきます。

10日間でテーマがそれぞれ異なります。どれも学習に取り組む上で、エンジニアになる上で重要な内容ですので、一人一人意見を持って話し合いましょう。

### 注意事項

- **楽しく話し合いましょう！ ← 超重要！**
- 話し始める時は進行役を決めて進めてください。
- トーク中に話したこと、決めたことなどはデイリースクラムシートにも記載します。 実施中は必ず発言するようにしましょう。

# やってみよう！\_デイリースクラム

10日間のトークテーマは以下のドキュメントで確認することができます。

スムーズにトークが行えるように、当日までに確認しておきましょう。

## デイリースクラム\_トークテーマ

<https://docbase.io/posts/1636017/sharing/4f1b67a6-56af-42bb-9ce0-f56ce7243df1>

## 5. 学習時間について



# 学習時間について

到達目標: **180時間以上**

	理想ライン	最低ライン
2ヶ月目トータル	<b>190時間</b> (7-8時間/1日)	165時間 (6-7時間/1日)
応用課題学習時間	<b>70時間</b> (7時間/1日)	60時間 (6時間/1日)
チーム開発学習時間	<b>120時間</b> (8時間/1日)	105時間 (7時間/1日)

※必ず毎日忘れずに打刻を行ってください。

学習時間をしっかりと確保できていない方は

**応用課題の進捗も遅れてしまう傾向にあります。**

デイリースクラムなどを活用して、タイムマネジメントをしっかりと行うことで

今後エンジニアとしても効率よく業務を行うことができるようになります。

また、しっかりと時間を確保し、応用課題を進めることで

今後のPF制作でも役立てていくことができます。

## 6. メンターへの質問

# メンターへの質問

1ヶ月目の学習を振り返って・・・

**メンターへの質問は効果的に実施できましたか？**

質問することは、エラーを解決できるだけでなく  
**様々なメリット**があります！

自身の1ヶ月目の質問を振り返り、2ヶ月目～の学習は  
更に**効果的に質問時間を活用**していきましょう！

# メンターへの質問で得られるメリット

効果的な質問ができようになると、こんなメリットが期待できます。

## メリット

- ・自分の考えや今何をしているのかなど、言語化し確認できるため、自分の状況が客観視できる！
- ・メンターの意見や考えを吸収でき、自身のプログラミングに対しての引き出しが多くなる！
- ・わからなくはないが、合っているのか不安といった悩みも解消され学習への理解が向上する！
- ・疑問点の解消時間短縮により学習進捗が向上し、時間がより有効的に使えるようになる！
- ・言語化スキルが向上し、自身の考えを上手く話せるようになるため、転職活動にも生きてくる！

## 質問したい内容は全て記入しましょう

⇒複数の質問がある場合は全て質問内容にご記入ください

質問投稿フォーム

**必須** タイトル

いいね機能とコメント機能について

**必須** 質問内容

質問は2点あります。

①いいね機能

- ハートの色が変わらない。
- パラメータの受け渡しに問題はなし

②コメント機能

- 自分のコメントを作成後に「~~~~~」というエラーが発生した。

**必須** 技術項目

RubyonRails

(質問例)

## 質問したい内容を全て記入する理由

### ① 文字にすることで「分からないこと」の整理ができる

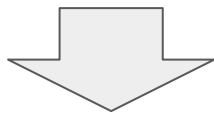
→ 頭で考えるよりも文字にすることで、気づきが生まれることも

### ② 実際の現場を想定したテキストコミュニケーションの練習

→ 現場ではテキストでのやり取りが多く、今から練習機会を増やそう

## 質問内容に記入がない追加質問

質問内容に記入がない追加の質問はご対応致しかねます



確実に自分で考えて文字にするステップを踏む

言語化能力、テキストコミュニケーション力、論理的思考力、整理力 など





## メンターへの質問範囲

応用課題についての質問は、学習フェーズ1と同様、WCOの質問受付から質問してください。

### 質問対応時間

13:00 ～ 22:00(質問受付は21:30まで)

### 対応範囲

- 応用課題1～6 : 質問可
- 応用課題7～10 : 質問不可

# 質問送信時の注意

## 必須 タイトル

応用課題○ ←課題番号を入れましょう！

## 必須 質問内容

- 1.何を(なぜ)したかったのか
- 2.何をしたのか(重要！)
- 3.どんな結果(問題)となったのか

※実行したコマンドやエラーメッセージがあれば、文字数の範囲に限りはありますが、コピペしてください。

※わからないところがわからない場合はこの限りではありません。

## 7. その他

### 注意事項

- ・テーブルは本日割り振りした場所に着席するようにしてください。
- ・Zoomでメンターに質問する際は、Remoの「質問中」テーブルに移ってください。

## 諸注意（専門技術コースを受講の方へ）

### ▶【重要】修了証発行条件

※学習フェーズIIの学習期間にて、下記の条件を満たす必要があります

- 学習フェーズII
  - 160時間以上の学習をし、  
チーム開発を終えることで2か月目の課程を修了とする

## 8. グループワーク

## グループワーク① デイリースクラム

- テーブルのメンバーと**デイリースクラム**をしましょう！

早速デイリースクラムを進めましょう！！

1回目のトークテーマは「**応用課題の目的**」です。

カリキュラムの「**応用課題の進め方**」を確認し、チームで共有しましょう。

デイリースクラム実施中は、運営スタッフがテーブルを巡回します。

進行中に不明点があればお聞きください。

# グループワーク① デイリースクラム

チーム

自己紹介

名前、なぜエンジニアを目指したのか、趣味 など (1人2分×人数)

個人

カリキュラム  
「応用課題の進め方」を確認

Commit 応用課題フェーズver3.0 > 応用課題 > 応用課題の進め方  
「なぜやるのか？」をご確認ください。(5分間)

チーム

応用課題の目的について共有

カリキュラムを確認し、理解した応用課題の目的について  
ご自身の考えとともにグループ内で話し合ってください。(5分間)



# グループワーク① デイリースクラム

- カリキュラム確認項目について

The screenshot shows the DMM WEB CAMP interface. The top navigation bar includes the logo 'DMM WEB CAMP' and a dropdown menu 'COMMIT 応用課題フェーズ ver 3.0'. The left sidebar has a menu with '応用課題' (Applied Topics) highlighted. The main content area has a teal header '応用課題の進め方' (How to proceed with Applied Topics). Below this, there is a text block with instructions for Phase I and Phase II.

① vからCommit 応用課題フェーズver3.0 が付与されているかを確認

② 応用課題を選択

② 応用課題の進め方を選択

フェーズⅠの学習お疲れ様でした。

フェーズⅡ前半は、より実践的なコーディング課題に取り組んでいただきます。

課題を通して、Webアプリケーションによくある機能の実装方法について学び、また、自分で問題を解決する能力を高めていただきたいと思います。

# グループワーク①実施中

## グループワーク② スケジュール作成

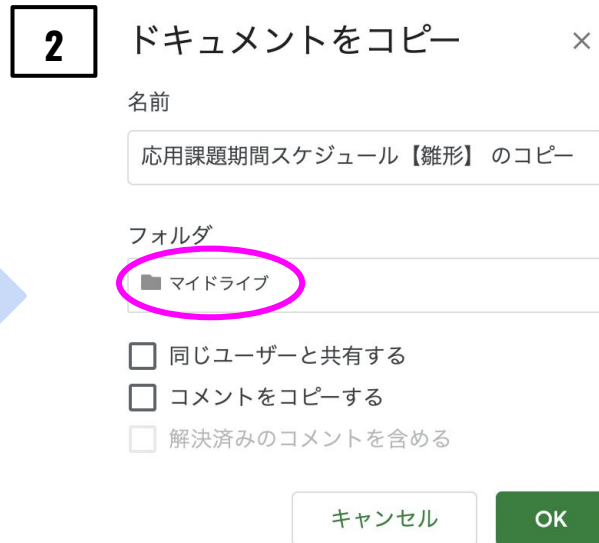
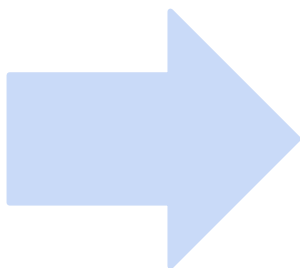
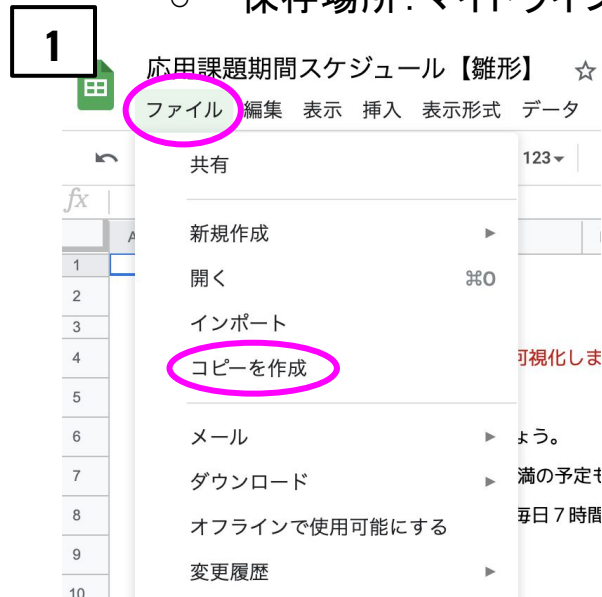
- **スケジュールを立てよう！**

- 月生チャンネルに事前に送付しております[応用課題期間スケジュール【雛形】]を使用します。
- 月生チャンネルのリンクから該当ファイルを開いてください。

# グループワーク② スケジュール作成

## ● スケジュールを立てよう！

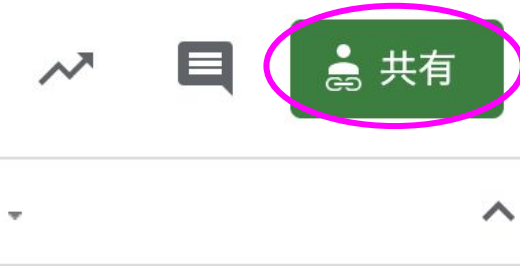
- ファイル→コピーを作成でファイルを複製して使用してください。
- 保存場所: マイドライブ



## グループワーク② スケジュール作成

- **スケジュールを立てよう！**
  - 閲覧権限を付与してください。

**1**



**2**

リンクを取得

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1-dH0rHpYa2ZO9f4sNqJKSj...> リンクをコピー

リンクを知っている全員 ▼  
このリンクを知っているインターネット上の全員が閲覧できます

Google にフィードバックを送信

完了

## グループワーク② スケジュール作成

- **スケジュールを立てよう！**

- 開校日・閉校日それぞれで1日の流れを記入してください。
- 記入10分で、順番を決めて各人共有3分×人数
- 共有はRemoの画面共有機能を用いて発表してください。

  
プレゼンする

  
カメラオフ

  
マイクオフ

  
チャット

  
画面共有

  
ロビー

  
その他

# グループワーク②実施中

# 転職成功時まで意識すべきこと

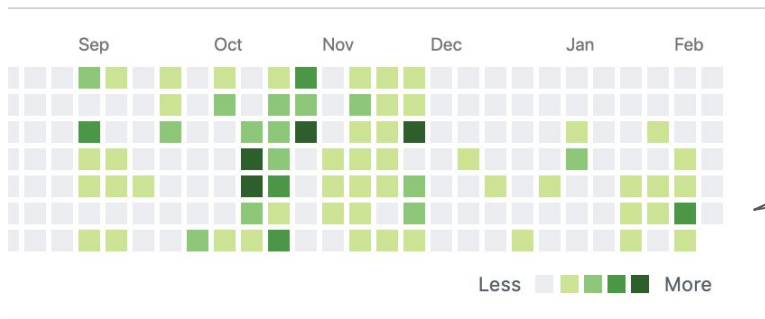


それはズバリ...

GitHubの更新！

# 転職成功時まで意識すべきこと

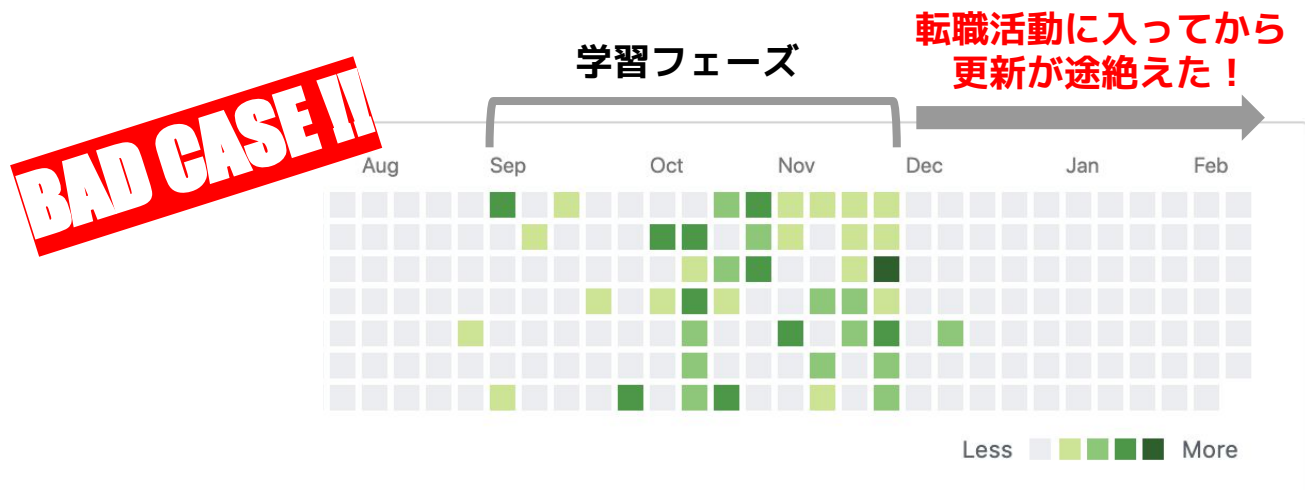
- これから皆さんは、書いたコードを自分のGitHubにアップロードしていくことになります。
- 転職活動の際、企業の方は皆さんのGitHubの更新履歴を見ます。
- なぜ見られるかというと、「**コードと向き合える人か**」「**学び続けられる人か**」という**技術者としてのスタンス**を確認したいからです。



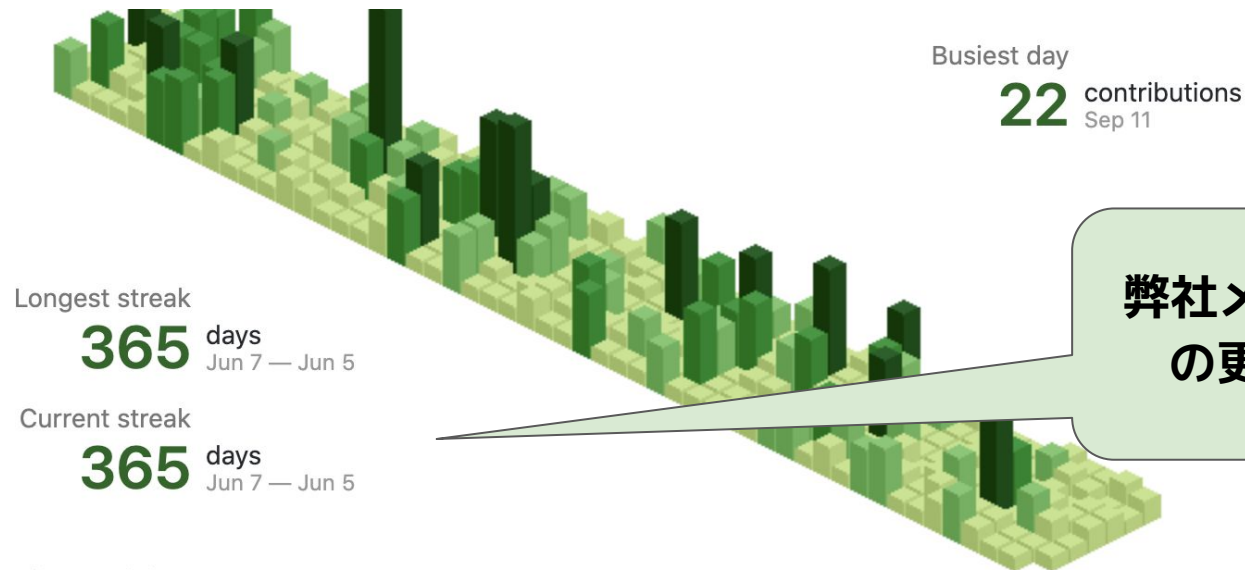
更新すると  
「草」が生える！！

# 転職成功時まで意識すべきこと

- 学習フェーズが終わってから更新が途絶えている方が「継続して学び続ける姿勢がない人」「入社後の自走力に懸念がある人」という判断を下されるケースが多々あります。

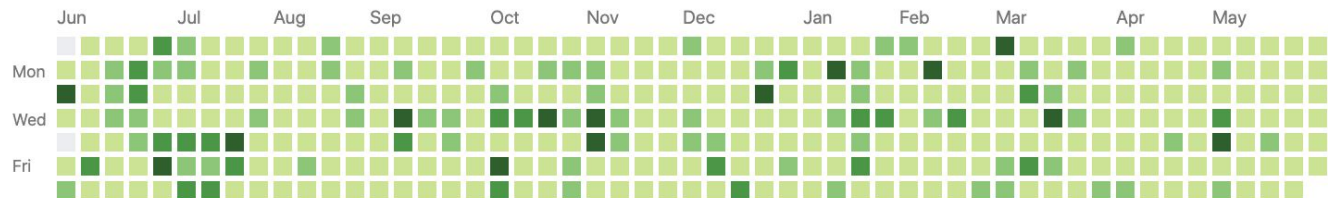


# 転職成功時まで意識すべきこと



弊社メンターは**365日連続**での更新を達成しました！

Hide normal chart ▴



[Learn how we count contributions.](#)

Less More



こんなに学習に打ち込める期間は  
もうないかもしれません。

意味のある学習にできるかは  
あなた次第です！

## この後の流れ

- 応用課題出欠アンケートの送信をお願いします。

本日中に欠アンケートの送信をお願いいたします。

未送信の方は欠席扱いとなるのでご注意ください。

**ガイダンスお疲れ様でした！**  
**引き続き学習頑張ってください！**